

住宅新築資金等貸付事業特別会計

平成16年度決算状況

歳 入	決算額	歳 出	決算額
1. 事業収入	43,981,743円	1. 事業費	10,789,068円
2. 県支出金	4,616,000円	2. 公債費	64,227,680円
3. 繰入金	28,510,000円	3. 予備費	0円
4. 繰越金	3,498,764円		
5. 諸収入	149円		
合 計	80,606,656円	合 計	75,016,748円
		収 支	5,589,908円

歳入

款1 事業収入

予算現額	調定額	収納額	不納欠損額	収入未済額
40,869,000円	334,775,024円	43,981,743円	0円	290,793,281円

事業収入は、貸付済の資金にかかる貸付者からの償還金収入であり、市の貸付財源である起債の償還に充てる主要財源です。

〔事業収入の内訳〕

	予算現額	調定額	収納額	収入未済額	収納率
元 金	34,786,000円	273,789,819円	37,462,093円	236,327,726円	13.7%
うち現年度分		51,128,277円	26,339,980円	24,788,297円	51.5%
うち滞納分		222,661,542円	11,122,113円	211,539,429円	5.0%
利 子	6,083,000円	60,985,205円	6,519,650円	54,465,555円	10.7%
うち現年度分		6,574,727円	3,662,218円	2,912,509円	55.7%
うち滞納分		54,410,478円	2,857,432円	51,553,046円	5.3%

款2 県支出金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
4,616,000円	4,616,000円	4,616,000円	0円

県支出金は、昭和53年度から昭和61年度までに貸し付けた住宅新築資金及び宅地取得資金の貸付財源として、市が借り入れた起債に対する利子補給の性格を有する補助金です。用途としては公債費に充当していません。

款3 繰入金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
28,510,000円	28,510,000円	28,510,000円	0円

一般会計からの繰入金であり、運営費及び公債費に充当しています。

款4 繰越金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
3,498,000円	3,498,764円	3,498,764円	764円

前年度の剰余金であり、公債費に充当しています。

款5 諸収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
1,000円	149円	149円	851円

預金利子収入であり、公債費に充当しています。

歳出

款1 事業費 項1 事業費 目1 運営費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,416,000円	10,789,068円		626,932円

〔一般職給〕 1人 10,534,861円

目的	住宅新築資金の滞納整理				
指標	現年度調定額に対する収納額の比率	目標	90% (20年度)	実績	76.22% (15年度 81.39%)
説明	本年度も、昨年度に引き続き、訪宅、電話等による日常的な償還指導や償還中の貸付者に対する「償還状況のお知らせ」、滞納者への「啓発文」の発送及び特に夜間訪宅による納付指導に努力しました。滞納繰越分の収納額は前年度より552,868円増加しましたが、繰上償還が例年より少なかったため、収納率は下降しました。なお、償還済分を含む事業全体からみた本年度末の累計償還率は85.21%となっています。				

〔一般経費〕 202,207円

〔負担金〕 52,000円

・三重県住環境整備事業推進協議会

款2 公債費 項1 公債費 目1 元金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,443,000円	48,892,934円		1,550,066円

過去に貸付財源として借り入れた土木債(元金)についての定期償還金です。

目2 利子

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,335,000円	15,334,746円		254円

過去に貸付財源として借り入れた土木債(利子)についての定期償還金です。

款3 予備費 項1 予備費 目1 予備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
300,000円	0円		300,000円